

ヤメ目 (Iridales) に到る二系とガマ目 (Typhales) とアダン目 (Pandanales) の未成退化偽花群の他に偽花形成に成功した天南星目 (Arales) は百合花目の穂状花序と漿果とを有するバラン (*Aspidistra*) を先祖として起れるものなるべし。

第三綱は穎花綱 (*Glumiflorae*) にして百合花目より燈心草目 (Juncales) を介して莎草目 (Cyperales)、禾本目 (Graminales) を展開し以て別途の偽花群を成せり、今回氏の着眼點の最も從來と異なる處は從來の百合科を以て異系混合と考へ石蒜科との關係に於て、兩科を分つ要點は雌蕊上位、雌蕊下位の點にあらずして却て莖状花序軸を有する繖形花序を有するや否にありとなし、從來百合科に入れしネギ族 (*Allieae*) を石蒜科へ編入し、又エンレイサウ科 (*Trilliaceae*)、サルトリイバラ科 (*Smilacaceae*)、ナギイカタ科 (*Ruscaceae*) を百合科中より獨立せしめたと同時にリウゼツラン目 (*Agavales*)、キンバイザサ科 (*Hypoxidaceae*) を石蒜科より分離獨立せしめたり。

それで單子葉植物は總計二十九目、六十八科に分類された。第二卷は第一卷と異り各科中には皆悉く各屬を配し分類してあるが唯蘭科と禾本科は全部各屬を配するには到らなかつた。(G. KOIDZUMI)

ハンデルマゼツチ氏：—**秦樹科** (H. H. MAZETTI : — *Chingithamnaceae*, fam. nova, in *Sinensia* vol. II. no. 10, 1932, p. 126, Fg. 1-8.)

1928年十月十九日、秦仁昌氏は支那廣西省、邕寧府の南方 *Sh-feng-da* 山千米突の森林内にて秦樹屬 (*Chingithamnus*) なる一新屬植物を採集せり、ハンデルマゼツチ氏之を研究して一の新科を設立せり、秦樹科 (*Chingithamnaceae*) である。

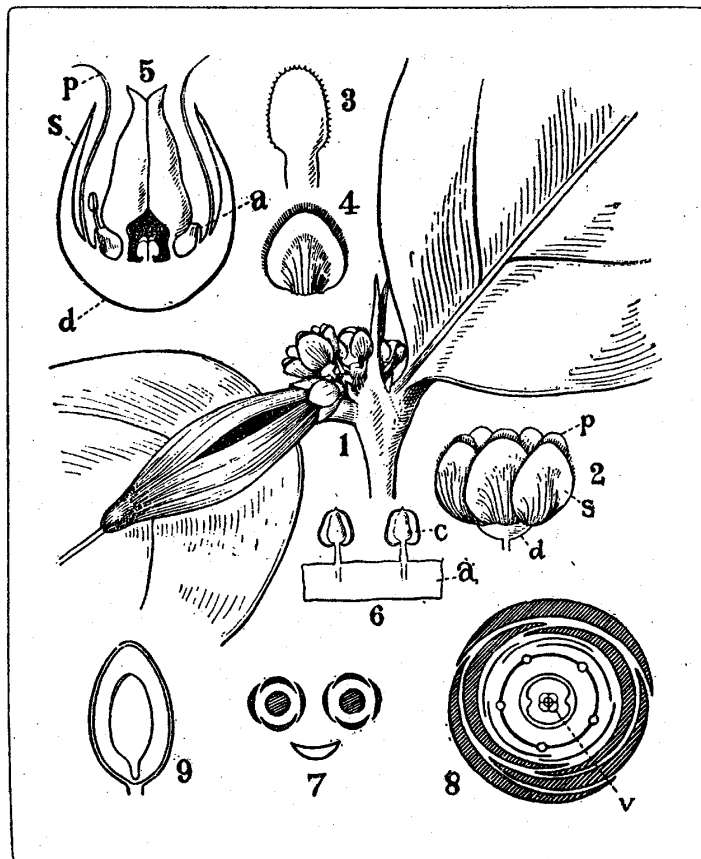
花は輻状相稱花、四輪生、異數を以て成り、一方の不發育の爲めに両家花なるものゝ如し、兩被花にして、雄蕊列は一輪、雌蕊周位花なり。花床は倒半圓狀にして、直徑二ミリ半なり。萼は五枚の離片萼より成り花床の縁に覆瓦狀に着生し永存性なり、各片は圓形にして徑 2 mm. 縁邊には腺毛を生ず。花冠は五の花弁より成る、各片は卵形にして長さ 3 mm あり、長き爪を有す、萼片に對生なるものゝ如し。雄蕊は五ヶ萼片に對生なるものゝ如し、花床圓縁に近く突出せる環輪上に座し、藥隔は先端微小突起あり、内向裂開である。心皮は二ヶ全く合一す、子房は半上生圓錐體を成し、一室殆んど花柱を欠き柱頭二ヶ三角形に肥厚す、胎座は子房室底の中央にあり、四ヶの倒生胚珠直立し、珠柄の通導は内位、珠皮は二枚である。蒴は橢圓體にして長さ 2 cm. 硬き革質にして表面に多くの線條あり。種子は一ヶ底着直生の橢圓體にして長さ 11 mm. あり、外種皮は光澤あり、胚は直、胚乳は多量である。無毛の灌木にして枝は双又或は三又分枝をなす、芽は頂生にして交互三對生の芽鱗片を有す。葉は永存

性にして對生、卵形革質である、托葉は之を欠く、短き葉柄あり。聚繖花序は殆んど無柄の五花を以て成り葉腋に生じ苞及小苞あり。

一屬一種にして秦木 (*Chingithamnus osmanthoides* H. MAZZTT.) と云ふ。

本科の特徴は、花が杯状の花床を有し、雌蕊周位花なる事、花瓣は萼片對生なるものゝ如く、雄蕊は haplostemon で萼片對生なるものゝ如く、花床内縁に近く突出せる環輪上に座する事、心皮は二枚にして全然合一し、子房は一室胎座は子房室底の中心にありて、胚珠は四ヶ、倒性にして直、珠柄の通導部は内位なる事等にして、最も *Sapindales* 中の *Celastrineae* に近きものゝ如しと雖も自然の一目を成すものなるべし。

(G. KOIDZUMI)



1. 果花枝ノ一部
 2. 花
 3. 花 瓣
 4. 萼 片
 5. 花ノ縦斷
 6. 雄蕊ノ着生
 7. 苞ト花ノ位置
 8. 花式圖
 9. 種子ノ縦斷
- a. 環輪 c. 雄蕊 d. 花床
p. 花瓣 s. 萼片 v. 胚珠

(H. MAZZETTI.)

Chingithamnus.

PALM, B. T.: — A *Mitrastemon* (*Rafflesiaceae*) from Sumatra, in (Medd. fr. Göteb. Botan. Trädg. IX (1934) 147-152.)

ヤツコサウ屬 (*Mitrastemon* MAKINO) は最初牧野富太郎博士が記載された屬で初めは本邦に特産のものと思はれたがその後早田文藏博士が臺灣に見出された貴重な寄生植物である。